

姉妹都市ドイツ・ディーツヘルツタールから
中学生訪問団が来市

3月23日(木)夕方、姉妹都市からの中学生訪問団が成田空港に到着し、ディンテルマン団長(中学校長兼議長)及び引率教諭を含む18名が、期待に胸を膨らませ下野市に入りました。

一行は、昨年夏の旧石橋町第4回中学生海外派遣団員がホームステイした家庭の中学生で、今回はその時の団員であった石橋中の生徒がホストファミリーとして一行を受け入れました。翌日は石橋中学校で修了式見



学や部活動を体験し、その後市役所国分寺庁舎を訪れ大垣市長と対面、夜はグリムの館において歓迎会が開催され、国分寺中学校伝統の和太鼓チームによる力強い演奏に、一同感激した様子でした。姉妹都市団長はあいさつの中で、過去に姉妹都市でも同じような合併改革が行われましたが、引き続き日独交流をさらに深めることは、視野を広げ、ものごとをグローバルに考え地域の行動に発展していくで

しよう」と述べました。期間中は、市内の各機関や講師の方にご協力をいただき、しもつけ風土記の丘資料館でホストファミリーの中学生と一緒に勾玉作り体験や下野薬師寺跡見学、東京見学のほか、最終日の着物着付け体験では色鮮やかな着物を身にまとい日本文化を堪能しました。

今回の姉妹都市からの中学生訪問団は下野市の最初の国際交流事業として大きな成果を上げることができました。ホストファミリーの皆様をはじめ、関係者の方々には大変お世話になりました。



歓迎会～国分寺中和太鼓チームと



勾玉作りを体験中



市長を表敬訪問



浅草へ行きました！



着物の着付けを体験しました



お別れの集い～ドイツ中学生によるジャグリング

ホストファミリー
募集！

下野市国際交流協会では、旧石橋町で毎年夏に行われてきた「グリムの里夏期日本語講習会」(第14回)を引き続き開催するにあたり、8月17日(木)から9月1日(金)までの約2週間、ドイツ大学生をホームステイさせていただけるホストファミリーを募集します。

ミュンヘン大学から8名の学生が下野市を訪れ、日本語や日本文化について学びます。この機会にぜひドイツ大学生を受け入れてみませんか？ホストファミリーをご希望の方は、事務局(下野市生活課内)☎40 5555)までご連絡ください。

ホストファミリーの条件
市内のご家庭で、平日の朝夕の送迎ができるご家庭に限ります(講習や体験のため市役所等に集合していただくため)。

ホストファミリーは特別なもてなしをする必要はありません。日本の日常生活を体験することが大学生たちの大きな目的です。